

◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆
NO. 29 2009. 5. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

皆さん、こんにちは。GWを元気に、楽しんで下さいね。

いよいよ今月から、第4期アレルギー大学が開講です！三重県より始まり、岐阜県・愛知県・静岡県と続きます。定員に達していない講座もありますので、是非お問い合わせいただき、多くの方の受講を、スタッフ一同お待ちしております。

==== も く じ =====

1. 新事務所開設のお知らせ
2. 2009年度次総会開催のお知らせ
3. アレルギー最新情報
4. 災害時の疑問 Q & A
5. 「三河地域アレルギーっ子ママネットワークの構築」
6. 東海アレルギー連絡会 「ピピクラブ(アレルギーの子を持つ親の会)」
7. アレルギー大学のお知らせ
 - 1) 愛知県 講座・実習 の日程・講師会場の変更・確定のお知らせ
 - 2) 岐阜県 基礎・初級講座 日程変更のお知らせ
 - 3) 三重県 中級講座 会場変更(確定)のお知らせ
8. メールマガジンについてのお問合せなど

====

1. 新事務所開設のお知らせ

皆様 春というより初夏のような気候が続きますが、お元気でしょうか。季節の変わり目で、子ども達の体調もすっきりしないという方も多いのではと案じています。

さて、ようやくアレルギー支援ネットワークの新しい事務所が決まりました。3年間の期限付ではありますが、便利な新しい事務所で、一層。そこで、みなさまにいいところがあれば教えてくださいとお願いしています。

皆様どうかよろしく！おねがいします・・・。

事務所は「COMB i 本陣 (コンビ本陣)」という名古屋市所有の建物です。「N

PO法人企業支援ネット」が名古屋市からの委託で管理運営しています。
NPOと起業グループ支援の施設で今回はコミュニティビジネスの創業支援団体
として入居条件をクリアしました。

詳しくはホームページをご覧ください↓↓↓

<http://www.combi-honjin.com/shisetsu.html>

事務所を活用して、「交流会」や「相談会」を順に計画したいとスタッフでは話し合っています。必要な資料やこれまではフェアのときぐらいしか見ていただけなかった「共同購入の商品」がいつでもご覧いただけるようになりました。（お店の
ように飾りつけをしていませんが）

名古屋駅から地下鉄東山線で2つ目の「本陣駅」から歩いて1、2分の便利なところ
です。駐車場も届けさえすれば、自由に止められるようになっています（空き
駐車場は10台分ぐらいあります）ので是非、お立ち寄りください。

地図はこちら↓をごらんください。

<http://www.combi-honjin.com/access.html>

また、「パソコン教室」も1ヶ月3、4回で1000円の超格安「教室」を開催し
ようと相談中です。皆様のご希望がございましたら是非お知らせください。

COMBI本陣には30人以上入れる無料で使える「会議室」が2つあり、の、
3ヶ月前から予約ができます。しかも、20人ぐらいなら事務所の中で打ち合わ
せが出来るスペースもあります。何しろ元小学校の「教室」1つですから、広
すぎて使いきれないくらいです。

皆様どうぞ、どんどんご利用ください。

毎日10時から17時までにはスタッフが交代で詰めています。（月曜から土曜。
祝・日曜は通常はお休みさせていただきます）

又、事務所に来て、お手伝いいただく無料ボランティアさんも大歓迎です。差
入れも歓迎です。なにせ何も無いところからの出発です。何でも差し入れは歓迎
です。

電話は 052-485-5208 です。

おいでの際は、出来れば電話1本かけていただくと、ければ嬉しいですね。

では、皆様のお越しをお待ちしています。

2. 2009年度次総会開催のお知らせ

2009年度年次総会開催のお知らせ

会員の皆様へ

陽春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃は、アレルギー支援ネットワークにご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

2009年度年次総会を下記のとおり開催いたします。

一般会員、賛助会員、Web無料会員の方どなたでも総会に出席していただくことができます。

総会の議決権は正会員のみですが、出席者は議長の指名により発言をすることができます。

アレルギー支援ネットワークの活動を企画運営する理事・スタッフとの交流の機会にもなりますので、是非一度いらっしやいませんか?皆さまからの忌憚のないご意見もいただきたいと思っております。多くの方のご参加をお待ちしております。

記

と き：2009年5月10日(日) 午前11時～12時まで

と ころ：COMBi 本陣 S棟 2階 共同会議室

〒453-0021 名古屋市中村区松原町1-24

内 容：(1)平成20年度 事業報告 (2)平成20年度 収支決算報告
(3)平成20年度 会計監査報告 (4)平成21年度 事業計画(案)
(5)平成21年度 収支予算(案) (6)新理事選出 (7)その他

以 上

『特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク新事務所』

〒453-0021 名古屋市中村区松原町1-24 COMBi 本陣 S103

TEL052-485-5208 / fax03-6893-5801

e-mail:info@alle-net.com

特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク

理事長 須藤 千春(中部大学 教授・医学博士・)

以上の件についてのお問合せは、下記 事務局までおねがいたします。

事務局 中西 里映子

TEL052-485-5208 /FAX 03-6893-5801、e-mail nakanishi@alle-net.com

3. アレルギー最新情報

伊藤浩明(いとうこうめい) あいち小児保健医療総合センター アレルギー科

アメリカのアレルギー学会に行ってきました

3月13日からワシントンDCで開かれた、アメリカのアレルギー学会(AAAAI 2009)に行ってきました。オバマ人気沸騰のワシントンで、ホワイトハウス周辺にはオバマグッズを売る屋台が並んでいます。地下鉄の切符にも、動物園で人気のパンダとオバマ大統領の写真が、交互に印刷されてきます。

今回の学会の会頭は、食物アレルギーの大ボスである Sampson 先生で、アメリカでも食物関係の話題は豊富でした。話題の中心は日本もアメリカも共通で、食物アレルギーのある人は

「完全除去」をするべきか、「できる限り食べる」方がよいのか、という問題です。実は Sampson 先生たちも、しばらく前までは「食物アレルギーと診断したら、完全除去」という考え方でした。しかし最近になって、「卵アレルギーがあっても、加熱した卵の負荷試験が陰性なら、加熱卵は食べた方がよい」という論文を発表しています。加熱卵で負荷試験して、陰性なら食べ始める、という食事指導は、日本では常識的にやられていることですから、これは特に目新しいことではありません。

しかし最近、負荷試験でかなり少量で陽性になっても、ごく微量のアレルゲン食品を敢えて食べさせて耐性をつけようという、「経口免疫療法」といった治療に挑戦した研究が増えてきています。今回の学会でも、それに関連する発表はたくさん見られ、盛んに議論がされていました。その背景としては、完全除去を長年続けていても、耐性獲得に至らない食物アレルギーの子どもが少なからず存在する事が、疫学調査から明らかにされてきたことが挙げられます。概ね5-6才を過ぎると、その後の自然寛解は非常に望みにくくなるのです。そのため、何とかしなくては、と感じる患者さんが増えてきます。従って、経口免疫療法に挑戦される年齢は、5才頃が比較的多くなります。

牛乳1mlでも症状の出る子どもに対して、入院治療で次第に増量して牛乳を飲ませ、その後1年くらい自宅でも量を増やして飲み続けることで150mlまで飲めるようになったとか、アナフィラキシーを起こすピーナッツに対して経口減感作療法に挑戦して効果があった、という報告が世界各地から出されています。

ただし、こうした治療中にアレルギー症状はほぼ必発で、中にはアドレナリンを注射しながら継続しているケースも含まれます。決して、楽で安全な道のりではありません。あくまでも研究的な挑戦であり、まだ一般の医療として確立した方法ではない、ということは、多くの研究者が口を揃えて述べていました。危険性が高い、と強く指摘する反対者も見られました。

日本でも、こうした発想の治療を試みる専門医療機関が、少しずつあらわれています。どの施設でも、限られた患者さんに対して十分にリスクや限界を説明した上で、慎重に実施されています。その中でも、かなり高い有効性を報告する施設も出てきています。

それをもう一つ進めると、アレルギーと診断された時点で、完全除去を行わずに、ごく微量であっても可能な摂取を継続する、という食事指導が望ましいのかも知れません。もちろん、どの程度なら安全か、という見極めは大変難しいものと思われれます。

そんな話題が豊富で、「食物アレルギーは食べて治す」という時代の到来を予感させる学会でした。

4. 災害時の疑問 Q & A

災害時の素朴な疑問に 湖西市災害ボランティア 前田 展雄さん にお答えいただきました。いざというときに迅速な対応ができるようにしたいですね。

今回の疑問

**Q：サイレンが鳴ったが、一体何のサイレンだかわからなかった
(放送もなく、何も知らされていないので、避難すべきかわからない)**

A：災害に関するサイレンの場合、その鳴らし方（何秒鳴らし、何秒止める、連続何回など）が決まっておりますが、豪雨や暴風雨の中で、それを聞き分けるのは困難でしょう。各自治体では、災害時の情報伝達手段を複数準備しています。

- 例えば：1. インターネットでの掲示（携帯電話・パソコン）
2. 専用電話
3. 自治会（町内会）を通じた連絡網
4. ケーブルTV放送によるローカル情報
5. 有線電話
6. 同報無線による放送（屋外） 等々

自治体によって準備状況が異なりますので、これらの有無と、使い方を各家庭で承知しておくのは、「自助」と言われる『自己責任』の範囲でしょう。また、普段から町内会や自治会活動には、関心をもって接しておくべきです。

加えて申し上げますが、豪雨や暴風雨による通報以外に、地震の事前通報（予知情報や緊急地震通報）が出される可能性もあります。いずれの場合でも、皆さんはどうされますか？

「出されてから考える」ではパニックで冷静な判断ができないでしょう。

自治体は通報の努力はしますが、受ける各家庭の協力なくて情報は生かされません。

次回は

Q：避難の基準は？

ニュースなどで、避難勧告地域に入っている、その時点では、危険を感じられない時はどうしたら？

また避難勧告地域は、住所？校区？ です。お楽しみに

5. 「三河地域アレルギーっ子ママネットワークの構築」

「三河地域アレルギーっ子ママネットワークの構築」

岡崎アレルギーの会代表 中西里映子

平成 20 年度 あいちモリコロ基金の助成をいただき、「三河地域アレルギーっ

子ママネットワークの構築」を行いました。

岡崎アレルギーの会は、代表の中西が、アレルギー疾患のある自分の子どもの子育てに悩み仲間作りを始めた平成6年に設立、活動を開始しました。会員が少なく挫折しそうな時期もありましたが、会員数も増え、最近では、地元のアレルギーの会がない近隣の市町よりの参加者が増えました。そこで、それぞれの地元に会を作り、その活動の支援をし、三河地域の会のネットワークを作ることを目的に助成金の申請をいたしました。

地元のアレルギーの会があると、その市町のアレルギーに関する諸施策がすすみます。それは、アレルギー疾患の子どもをもち悩める親たちが、子育て支援センターや保健所・保健センター、園や学校、防災課などに相談をし、理解を求め、自治体や各施設の方々がそれに答えようと努力を重ねてくださる過程で、アレルギーに関する理解と諸施策が徐々に進んでいくからだと思います。アレルギーに関する理解が深まれば、アレルギー疾患をもつ子どもたちも疎外感無く社会生活を行うことができ心身ともに健やかな成長をすることができます。

本企画では、豊田市、岡崎市、および、新たに会の設立を支援した豊川市、それぞれの市で、自治体や各施設の方々を巻き込んで、アレルギーに関する講演会および食物アレルギー対応の調理実習を行い、啓発活動を行いました。また、来るべき東海・東南海地震に備えて、各市の防災課や防災ボランティアに協力をお願いし、被災時のアレルギーっ子の対策を考えました。被災時に相互協力・情報交換をすることができるようネットワークを作ったり、アレルギー用品の備蓄拠点を作り食物アレルギー対応のアルファ化米を備蓄したりすることができました。

また、豊橋市では、新たに会を立ち上げたいというお母さんと連絡を取り、打ち合わせを始めています。本企画をきっかけに今後も引き続き、三河地域だけでなく、東海4県で、アレルギーの会を各市にひとつ作ることを目標に、会の設立と活動の支援を行い、ネットワーク作りを続けたいと考えています。

代表の中西は、この4月に名古屋に転居し、アレルギー支援ネットワークの活動に専念することにいたしました。岡崎アレルギーの会は、引き続き、舟津・岡本を代表に活動をすすめていきます。

6. 東海アレルギー連絡会 「ピッピクラブ（アレルギーの子を持つ親の会）」

はじめまして岐阜県関市の「ピッピクラブ（アレルギーの子を持つ親の会）」です。

関市を拠点として岐阜市、美濃加茂市の方も一緒に活動しています。平成17年1月のサークルを立ち上げた頃は、数名でしたが現在の会員は21名で、小学校高学年から赤ちゃんまで年齢はさまざまです。

誰もが生活の中で、心配事や悩みがいっぱいあると思うのですが、私たちの子

どもは食物などでアレルギー反応を起こしてしまう病気を持っている事で親たちが、こんな時どうしたらいいのかな？ 他の人はどうしているのかな？ どの病院がいいのかな？ 周りに同じ境遇の人がいないといろいろな悩みを抱え、少しでも「情報がほしい」「仲間がほしい」と切実な願いを持っていると思います。

中でも明日何を食べさせたらいいのかわからない、いずれ社会（幼稚園、保育園、小学校）へ出て行くのですが、給食をどうしたらいいの、周りの人がアレルギーという病気を理解してくれるかな？など不安を抱えた親さんもみえました。

私たちの会は、アレルギーに関する情報が溢れ、混乱している中で、ひとりで悩みを抱え込まないように、同じ悩みを持っている人と話すことで前向きに明るく楽しく、お互いがよりよい子育てができるということが一番願って活動しています。その中で親同士の情報交換や交流をしながら、子どもたちの成長にとっても大きな役割を果たし、アレルギーと戦っているのが自分ひとりでない子ども自身が気づき、それを心の支えとして、生活していける環境ができるよう支援していきたいと考えています。

活動内容

- ・ 月1回の定例会もしくは、学習会
 - ・ アレルギーに関する情報交換、情報収集
 - ・ 幼稚園、保育園、小学校の集団生活の意見交流
 - ・ アレルギー児のための緊急時（災害）対策、緊急カードの作成など
 - ・ 交流の場を作り情報交換し、ひとりで悩んでいる人の支援
 - ・ アレルゲンを使わない料理教室
 - ・ 試食会（生協さんの協力）
 - ・ おたのしみ会、クリスマス会
 - ・ 工場見学
- など

☆ 月1回通信発行（毎月担当を決めて書く、内容は自由）

☆ 年4回会報発行（書記の人が書く）

☆ アレルギーに関する雑誌、新聞記事などの紹介

※ みんなでやりたい事、こんなことあんなことを話し合いながら楽しい会にしていきましょう！

活動日は、関市市役所ホームページ「いないいないばあ」に掲載しています。まずは、見学した

い方、下記までお気軽にお問い合わせを・・・お待ちしております。

ピッピクラブ（アレルギーの子を持つ親の会）

坂井 真由美 E-mail:susumu@ccn3.aitai.ne.jp

7. アレルギー大学のお知らせ

1) 愛知県 講座・実習 の日程・講師会場の変更・確定のお知らせ

上級講座

No. 46 医学Ⅲアトピー性皮膚炎と園・学校での対応 8月22日(土)午前
矢上晶子(国立成育医療センター研究所 免疫アレルギー研究部)に講師変更

上級講座

No. 48 特別講座 食品表示を進める-検知法・法制度
ウィルあいち 特別会議室(第7会場②) 10月3日(土)
(講師は未定)に日程・会場確定

研究・実践講座

No. 54 記念講演Ⅰ、55 研究・実践報告Ⅰ、56 記念講演Ⅱ
ウィルあいちセミナールーム1・2 (第7会場③)
10月4日(日)午前・午後に日程・会場確定

研究・実践講座

No. 58、61(追加) 研究実習 (No. 58、61 合わせて1日の実習です)
名古屋市昭和生涯学習センター 料理室(第8会場/予定)
10月18日(日)午前・午後に日程確定

2) 岐阜県 基礎・初級講座 日程変更のお知らせ

変更前

No. 17 基礎・初級講座 7月4日(土)午後
講師:和泉秀彦 第4会場

↓

変更後

6月27日(土)午前

尚、講師・会場の変更はありません。

3) 三重県 中級講座 会場変更(確定)のお知らせ

新たに第10会場が加わります。

〒510-0085

三重県四日市市諏訪町2番2号

TEL 059-354-8292

変更前

N0.10・11 中級講座 6月14日(日) 午前・午後
第3会場(あさけプラザ)

↓

変更後

四日市市総合会館 第1研修室(第10会場)

変更前

N0.12・13 中級講座 6月7日(日) 午前・午後
第3会場(あさけプラザ)

↓

変更後

四日市市総合会館 第1研修室(第10会場)

中級講座の実習 6月21日(日) 四日市地域総合会館 あさけプラザ(料理室)
の会場変更はありません。

8. メールマガジンについてのお問合せなど

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは、
asn-mailmagazine@alle-net.com(担当:園木)までお願いします。また、今後、
アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数です
が、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン
配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、
ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務
局(担当:園木) asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメー
ルマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せ
ください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町1-24

COMBi本陣 S103

▽TEL 052-485-5208 FAX 03-6893-5801

▽E-Mail: info@alle-net.com

☆◆-----◆☆